

FUJITSU PC ESPRIMO

ESPRIMO D552/H

ESPRIMO D552/HX

ESPRIMO D552/HW

BIOS セットアップメニュー 一覧

インテル、およびIntelは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation
またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.2)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
電源管理 (→P.5)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN機能などを設定します。
セキュリティ (→P.5)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
終了 (→P.6)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
 - ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目
システム	システム時刻
	システム日付
	言語 (Language)
詳細	イベントログ設定
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
終了	変更を保存して終了する (再起動)
	変更を保存して終了する (電源OFF)
	変更を保存せずに終了する (起動)

情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット3	1MB=1024 ² バイト換算
MACアドレス	
UUID	

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 2000/01/01 ~ 2099/12/31	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー……左の項目に移動
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない
ドライブ0	
ドライブ0 □使用しない ■使用する	
タイプ	「ドライブ0」が「使用する」およびデバイスを検出した場合に表示
型名	「ドライブ0」が「使用する」およびデバイスを検出した場合に表示
容量	・1GB=1000 ³ バイト換算 ・「ドライブ0」が「使用する」およびデバイスを検出した場合に表示
ドライブ4	
ドライブ4 □使用しない ■使用する	
回転速度 □低速 □中速 ■高速	・対象の光学ドライブ搭載時のみ変更可能。それ以外は表示のみ。 ・「ドライブ4」が「使用する」および光学ドライブを接続している場合に表示
タイプ	・光学ドライブ搭載機種のみ表示 ・「ドライブ4」が「使用する」および光学ドライブを接続している場合に表示
型名	・光学ドライブ搭載機種のみ表示 ・「ドライブ4」が「使用する」および光学ドライブを接続している場合に表示

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	・OSを読み込むデバイスの優先順位を設定します。 ^{注1} ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。
起動順位 #n □Windows Boot Manager □ハードディスクドライブ □CD/DVDドライブ □ネットワーク起動 □UEFI: [HDD デバイス名] □UEFI: [CD/DVD デバイス名] □UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] □UEFI: IPv6 [LAN デバイス名]	・Windows 7 の場合、ご購入時は次のように設定されています。 起動順位 #1: ハードディスクドライブ 起動順位 #2: CD/DVD ドライブ 起動順位 #3: ネットワーク起動 ・Windows 8.1 の場合、ご購入時は次のように設定されています。 起動順位 #1: Windows Boot Manager 起動順位 #2: UEFI: [HDD デバイス名] 起動順位 #3: UEFI: [CD/DVD デバイス名] 起動順位 #4: UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] 起動順位 #5: UEFI: IPv6 [LAN デバイス名] ・「Windows Boot Manager」および「UEFI: [デバイス名]」の選択肢は、Windows 7 では表示されません。 ・お使いの状況によって、選択肢の表示順番が異なる場合があります。 ・「CD/DVD ドライブ」は CD/DVD デバイスを接続した場合に表示されます。 ・「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示されます。 ・UEFI 起動デバイスから起動する場合は、BIOS 起動デバイスより上位に設定してください。 ・起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加されます。 ・UEFI アプリケーションが優先順位を変更することがあります。
互換性サポートモジュール □使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・「セキュアブート機能」が「使用しない」のとき設定可能 ・Windows 8.1 の場合「使用しない」、Windows 7 の場合「使用する」に設定されています。 ・本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が標準設定値に変更されます。必要に応じて起動順位を設定し直してください。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
高速起動 □使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。
起動メニュー □使用しない ■使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定 ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
リムーバブルメディアからの起動 □使用しない ■使用する	リムーバブルメディア（CD/DVDドライブやUSBメモリなど）からの起動設定
起動時の自己診断画面 ■使用しない □使用する	「使用しない」設定時は「FUJITSU」ロゴを表示
起動時のNumLock設定 ■オン □オフ	Windows ログオン後は前回終了時の状態になる
エラー停止 ■全てのデバイス □キーボード以外 □なし	POSTエラー検出時に起動停止する／しないの設定 ※ 注2
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時のみ表示
マルチコア ■使用する □使用しない	対応CPU搭載時のみ表示
USBコントローラー □使用しない ■使用する □背面のみ	
内蔵USB3.0コントローラー □使用しない □Manual ■Smart Auto	「USBコントローラー」が「使用する」時のみ設定可能
USBレガシーサポート □キーボード/マウス □使用しない ■使用する	「USBコントローラー」が「使用する」時のみ設定可能
内蔵LANデバイス ■使用する □使用しない	
ネットワークからの起動 ■PXE □使用しない	・「内蔵LANデバイス」が「使用する」時のみ設定可能 ・標準搭載のLANに対してのみ有効
SATAモード ■AHCI □IDE	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Native PCIE モード ■使用する □使用しない	
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	

注1： ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

注2： 本設定で停止しないよう設定したデバイスのエラーでも、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。
ただし、「キーボード以外」でキーボードエラーを検出した場合は、POSTエラーは表示されず、イベントログにも記録されません。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
待機時の省電力 □使用しない □使用する (S5) ■使用する (S4-S5)	「LANによるウェイクアップ」を「使用する」に設定した場合は、「使用しない」に設定されます。
AC通電再開時の動作 □電源ON □電源OFF □自動 ■使用しない	・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。起動中、スリープは「電源ON」シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注1
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3
時刻による電源ON ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注4 ※注5
時刻 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	「時刻による電源ON」が「使用する」時のみ設定可能
日付 00 ~ 31	・00…毎日指定時刻に起動 ・「時刻による電源ON」が「使用する」時のみ設定可能
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	

注1 : UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。

注2 : 省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注3 : Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。

注4 : 「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本製品の電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注5 : 省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値


設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード ■使用しない □最初のみ □毎回	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
自動ウェイクアップ時 ■使用しない □使用する	・LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定。 ・「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」時に設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
ハードディスクセキュリティ	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合のみ設定可能。再起動後は設定不可。
ドライブ0用パスワード	設定状況を表示
ドライブ4用パスワード	設定状況を表示
ドライブ0用パスワード設定 > Enter	・対応ハードディスク搭載、かつ「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ドライブ4用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	・再起動時は本設定に関係なくパスワード入力の要求はなし ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
セキュアブート設定	
セキュアブート	・設定状態を表示 ・Windows 8.1の場合「有効」、Windows 7の場合「無効」に設定されています。 ※注1 ※注2
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」が表示されます。
署名情報の状態	・設定状態を表示 ・「標準」または「カスタム」が表示されます。
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 ・「使用する」に設定した場合、「互換性サポートモジュール」は「使用しない」に設定されます。
署名情報のカスタマイズ > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
署名情報の初期化 > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時のみ表示
Intel(R) VT-d ■使用しない □使用する	・対応CPU搭載時のみ表示 ・「Virtualization Technology」が「使用する」時のみ設定変更可能 ・「Virtualization Technology」を「使用しない」に変更すると初期値に戻る

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されます。

注2：Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 【】 + 【C】キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
変更を保存せずに終了する（起動）	※注
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語（Language） ・システム時刻 ・システム日付 ・互換性サポートモジュール ・高速起動 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・セキュアブート機能

注：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。